



【先週 9月11日～9月17日の外食の出来事】

■鳥貴族HDの前期、2期ぶり復配 最終黒字転換

2022年7月期の連結決算は、最終損益が11億円の黒字だった。新型コロナウイルス禍での営業時間短縮による助成金収入に加え、居酒屋「鳥貴族」が3月下旬から通常営業に戻り、客数が持ち直した。

■鳥貴族、やきとり大吉を買収 サントリーから全株取得

鳥貴族は13日、同業の「やきとり大吉」をフランチャイズ(FC)展開するダイキチシステム(大阪市)を完全子会社化すると発表した。サントリーホールディングスから2023年1月に全株式を譲り受ける予定。買収額は非公開。

■チムニーの23年3月期、一転最終赤字 居酒屋不振

2023年3月期の連結最終損益が17億円の赤字になりそうだ。新型コロナウイルスの感染「第7波」の影響で、同社の主力とする「はなの舞」や「さかなや道場」など居酒屋業態を中心に客足の回復が鈍っている。

■JT、サンジェルマンをクリエイト・レストランズHDに譲渡

JT(日本たばこ産業)は15日、JTの連結子会社であるサンジェルマンの全株式をクリエイト・レストランズ・ホールディングス(HD)に譲渡することを決定し、この日株式譲渡契約を締結したと発表した。

■ワタミ、10業態で酒類値上げ

ワタミは、居酒屋や焼き肉、すしなど同社が展開する全12業態のうち酒提供を主力とする10業態で値上げを行う。10月以降のメニュー改定に伴って順次値上げを行い、12月をめどに約390店舗中約290店舗で値上げを行う。

■梅の花、第1四半期(2022年5月～7月)の連結業績

2023年4月期 第1四半期の連結業績は売上高62億3800万円(対前年同期比37.7%増)、営業損失1億5200万円(-)、経常損失1億4800万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失4300万円(-)であった。

■バルニバービ、2022年7月期(2021年8月～2022年7月)の連結業績

2022年7月期 通期の連結業績は売上高99億6900万円(対前年同期比23.9%増)、営業損失4億4700万円(-)、経常利益11億8500万円(-)、親会社株主に帰属する当期純利益1億2300万円(同65.4%減)であった。

■くら寿司、第3四半期(2021年11月～2022年7月)の連結業績

2022年10月期 第3四半期の連結業績は売上高1347億5600万円(対前年同期比21.8%増)、営業損失3億8200万円(-)、経常利益29億8900万円(同111.6%増)、四半期純利益17億1100万円(同121.0%増)であっ

■シダックス、第1四半期(2022年4月～6月)の連結業績

2023年3月期 第1四半期の連結業績は売上高298億4000万円(対前年同期比2.8%増)、経常利益8億5600万円(同102.8%増)、四半期純利益9億1700万円(同72.5%増)と増収増益を確保した。